

変形制御学研究室

長年当研究室を担当されていた佐々木克彦教授は、令和7年度(2025年度)をもってご退職され、現在は工学部同窓会の理事長に就任されています。令和8年度から当研究室は新体制となり、本田真也准教授が教授に昇任し、武田量助教と二人で研究室を運営しています。

当研究室では航空機構造用の先端複合材料の最適設計手法の開発、曲線状の強化繊維を有する新機能複合材の設計・製造手法の開発、物理モデル AI を活用した最適設計の効率化などに取り組んでいます。さらに、産官学連携を積極的に推進しており、宇宙遊覧気球用キャビン構造評価に関する共同研究をはじめ、北大病院、旭川医大、金沢大学などと連携して、膝の変形性関節症に対する治療効果、大動脈解離の治療に用いられるステントグラフトの力学的研究、心房内の血流解析、顎骨手術後の咬合応力解析など、多岐にわたる研究を実施しています。

各教員が幅広いテーマを取り扱っており、学生はそれらを通して多様な知識と経験を身につけることができます。当研究室では、こうした経験を通じて、様々な問題に柔軟に対応できる能力を備えた人材の育成を目標として、研究・教育を行っています。

2026年度の学生数は博士4名（うち2名が留学生）、修士10名、学部4年生が6名です。また、多くの国際インターンシップ学生の受け入れており、今年度は二名（タイ、カナダ）を受け入れる予定です。

卒業生の皆様、来札の折には是非お気軽にお立ち寄りください。

HP : <https://ldc.eng.hokudai.ac.jp/>



佐々木先生退職記念講演会にて